



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日  
東

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所  
 コード番号 4251 URL <https://www.keiwa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長村 恵次  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 石田 憲次 (TEL) 03(5643)3783  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,441	—	807	—	825	—	612	—
2018年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 551百万円(—%) 2018年12月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	103.53	—
2018年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2018年12月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期第3四半期の数値及び2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2018年12月期及び2019年12月期第3四半期累計期間の当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	13,738	3,603	3,603	26.2	26.2
2018年12月期	13,999	3,057	3,057	21.8	21.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,603百万円 2018年12月期 3,057百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	9.21	9.21

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,209	△3.4	910	20.7	849	14.5	579	28.3	93.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期3Q	5,920,000株	2018年12月期	5,920,000株
2019年12月期3Q	一株	2018年12月期	一株
2019年12月期3Q	5,920,000株	2018年12月期3Q	5,920,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨ものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦や中国の景気減速等により輸出や生産の一部に弱さがみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況におきまして、当社グループは、積極的な高付加価値製品の販売促進活動を実施するとともに、生産性の向上にも努めました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は11,441百万円、営業利益は807百万円、経常利益は825百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は612百万円となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [光学シート事業]

高付加価値製品のスマートフォン向け新機種の販売好調に加え、ノートブック向けの販売が増加いたしました。

その結果、売上高6,954百万円、セグメント利益1,734百万円となりました。

#### [機能製品事業]

製紙用及び鉄鋼用包装資材については堅調に推移したものの、建築資材及び工程紙等産業資材は受注減となりました。

その結果、売上高4,487百万円、セグメント利益76百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### (資産の部)

資産合計は、現金及び預金が455百万円、商品及び製品が149百万円、有形固定資産が237百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が1,097百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、13,738百万円となりました。

#### (負債の部)

負債合計は、支払手形及び買掛金が406百万円、未払法人税等が97百万円、長期借入金が333百万円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ806百万円減少し、10,135百万円となりました。

#### (純資産の部)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により612百万円増加、為替換算調整勘定が62百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ545百万円増加し、3,603百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する高機能フィルム業界では、IoTやAIの活用、次世代通信規格の実用化によるエレクトロニクス化の流れが需要を大きく押し上げることが期待されております。

このような経営環境の中、当社グループは、顧客志向の高機能フィルムメーカーに徹することを基本方針とし、具体的な戦略として以下の3つを掲げております。

#### ①ニッチ市場をターゲットに

技術要求が高く差別化ができるニッチ市場をターゲットにする

#### ②高付加価値製品へのシフト

既存製品の改良や新製品開発によって限界利益の高い製品にシフトする

#### ③マルチドメスティックマーケティングの推進

各国ごとの市場実態に対応したきめ細かいマーケティングを行う

当連結会計年度(2019年12月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高15,209百万円(前年同期比3.4%減)、連結経常利益849百万円(前年同期比14.5%増)を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,650,955	2,106,422
受取手形及び売掛金	3,733,549	2,635,756
商品及び製品	904,725	1,054,665
原材料及び貯蔵品	465,930	459,073
その他	365,004	403,940
貸倒引当金	△806	△607
流動資産合計	7,119,358	6,659,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,618,419	3,586,165
機械装置及び運搬具（純額）	1,671,068	1,862,137
土地	540,526	539,179
建設仮勘定	64,032	45,586
その他（純額）	174,137	272,487
有形固定資産合計	6,068,185	6,305,554
無形固定資産	58,342	46,930
投資その他の資産		
投資有価証券	456,907	465,423
その他	365,272	318,887
貸倒引当金	△68,692	△57,747
投資その他の資産合計	753,487	726,564
固定資産合計	6,880,015	7,079,049
資産合計	13,999,374	13,738,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,512,871	3,105,967
1年内返済予定の長期借入金	1,603,136	1,350,205
未払金	506,610	484,228
未払法人税等	182,888	85,209
製品保証引当金	94,648	53,397
賞与引当金	—	97,770
その他	273,102	509,686
流動負債合計	6,173,257	5,686,465
固定負債		
長期借入金	4,403,671	4,070,424
退職給付に係る負債	238,478	251,983
資産除去債務	81,568	81,593
その他	44,514	44,584
固定負債合計	4,768,232	4,448,585
負債合計	10,941,490	10,135,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,400	266,400
資本剰余金	35,000	35,000
利益剰余金	2,547,110	3,153,454
株主資本合計	2,848,510	3,454,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,374	73,033
為替換算調整勘定	137,998	75,361
その他の包括利益累計額合計	209,372	148,394
純資産合計	3,057,883	3,603,249
負債純資産合計	13,999,374	13,738,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,441,907
売上原価	8,621,168
売上総利益	2,820,738
販売費及び一般管理費	2,013,482
営業利益	807,256
営業外収益	
受取利息	1,664
受取配当金	10,129
為替差益	4,086
受取保険金	55,084
助成金収入	14,586
その他	29,907
営業外収益合計	115,458
営業外費用	
支払補償費	20,477
支払利息	40,929
手形売却損	20,694
その他	15,052
営業外費用合計	97,153
経常利益	825,561
特別利益	
固定資産売却益	1,035
特別利益合計	1,035
特別損失	
固定資産売却損	51
固定資産除却損	485
投資有価証券評価損	1,009
特別損失合計	1,546
税金等調整前四半期純利益	825,051
法人税、住民税及び事業税	190,775
法人税等調整額	21,325
法人税等合計	212,100
四半期純利益	612,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	612,950

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2019年1月1日  
至 2019年9月30日)

四半期純利益	612,950
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,658
為替換算調整勘定	△62,637
その他の包括利益合計	△60,978
四半期包括利益	551,971
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	551,971
非支配株主に係る四半期包括利益	—

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

#### 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光学シート事業	機能製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,954,656	4,487,251	11,441,907	—	11,441,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,954,656	4,487,251	11,441,907	—	11,441,907
セグメント利益	1,734,635	76,345	1,810,980	△1,003,724	807,256

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

#### 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(公募による新株の発行)

当社は、2019年10月30日に東京証券取引所市場第二部へ上場いたしました。  
上場に当たり、2019年9月24日及び2019年10月9日開催の取締役会において、  
以下のとおり新株式の発行を決議し、2019年10月29日に払込が完了いたしました。

#### 1. 公募による新株の発行

(1) 募集方法一般募集 (ブックビルディング方式による募集)

(2) 発行する株式の種類及び数 普通株式1,500,000株

(3) 発行価格 1株につき770円

(4) 引受価額 1株につき712.25円

この金額は、当社が引受人より1株当たりの払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額 1株につき356.125円

(6) 発行価格の総額 1,155,000千円

(7) 引受価額の総額 1,068,375千円

(8) 資本組入額の総額 534,187千円

(9) 払込期日 2019年10月29日

#### 2. 資金の用途

和歌山テクノセンターの設備投資資金に充当する予定であり、残額を借入金の返済に充当する予定であります。

(第三者割当による新株の発行)

当社は、2019年9月24日及び2019年10月9日開催の取締役会において、  
大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し  
(貸株人から借入れる当社普通株式297,400株の売出し)に関連して、  
同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を以下のとおり決議しました。

#### 1. 第三者割当による新株の発行

(1) 発行する株式の種類及び数 普通株式 297,400株

(2) 割当価格1株につき 712.25円

(3) 資本組入額1株につき 356.125円

(4) 割当価格の総額 211,823千円

(5) 資本組入額の総額 105,911千円

(6) 払込期日 2019年12月2日

(7) 割当先 大和証券株式会社

#### 2. 資金の用途

上記「公募による新株の発行 2. 資金の用途」と同様であります。